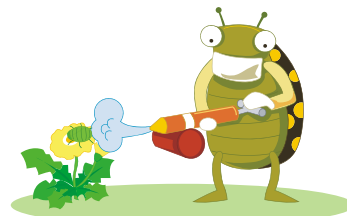


残留農薬検査メニューの選択フロー

国内ではポジティブリスト制度が施行され、農作物や畜水産物にさまざまな農薬等の残留基準値が設定される一方で、輸入食品からは国内で使用してはならない農薬等が検出されたり、基準値を超えて含有されている例が後を絶ちません。

自社で扱っておられる食品について、残留農薬検査でどのような検査項目を選択したら良いのか、ニーズに合った検査メニューを選択して頂けるよう下記のフローをご提案致しますので、ご利用頂きますようどうか宜しくお願い申し上げます。



検査メニュー選択フロー

農薬の使用履歴は分かりますか？

いいえ

はい

国産品 or 輸入品

国産品

輸入品

使用履歴のある項目を個別に検査することが可能。

489農薬(507成分)スクリーニングA ¥235,000

弊社最大数の項目で、使用頻度の高い農薬を盛り込んだ高感度分析メニュー

489農薬(507成分)スクリーニングB ¥150,000

検出限界値0.01ppmに設定した低価格メニュー

ポジティブリスト制度対応

検疫所のモニタリングメニューを優先したい。

食材別のモニタリングメニューで少しお安く。

違反事例・高頻度検出240農薬(251成分)A

¥70,000

高頻度検出している項目に加え、厚生労働省より事務連絡のあった有機リン系57農薬を網羅したメニューで、平成18年4月～平成20年2月までに、検疫所での輸入食品モニタリング検査で違反事例のあった65農薬を100%カバー

輸入品対象に最もお勧めできる低価格の内容充実セット

輸入検査対象438項目スクリーニング(平成20年度版) ¥150,000

検疫所の平成20年度輸入食品残留農薬モニタリング512項目のうち、438項目に対応したメニュー

または

**輸入野菜対象390項目・輸入穀類対象379項目・輸入果実対象348項目・輸入茶対象165項目
輸入畜産食品対象125項目・輸入水産食品対象22項目**

¥80,000～¥130,000

各対象農作物・畜水産物における平成20年度輸入食品残留農薬モニタリング項目対応メニュー

受託件数NO.1 低価格なのに内容充実

違反事例・高頻度検出228農薬A ¥55,000

輸入食品の違反事例農薬および受託作物等で高頻度に検出された農薬のセットメニュー（香辛料・茶対象外）平成18年4月平成19年2月8日までに検疫所での輸入モニタリング検査で違反事例のあった農薬を100%カバー

有機リン系農薬に絞りました。

残留確認・有機リン系57農薬A ¥60,000

厚生労働省より事務連絡のあった有機リン系57農薬について、検出限界値を0.01ppmに設定したメニュー

注) 検出限界値については、「489農薬(507成分)スクリーニングA」のみ高感度分析とし、その他については0.01ppm（一部0.05ppm）に設定しております。

お問合せ先

株式会社セントラル医学検査研究所 総合衛生事業部

〒310-0804 茨城県水戸市白梅2丁目9-13

TEL 029-225-8858 FAX 029-225-8874

ホームページ <http://www.central-icl.com> E-mail: eisei@central-icl.com

